

地域連携ネットワーク構築支援事業

平成27年度下期報告会

平成28年1月26日

一般社団法人 福島県建設業協会

地域連携ネットワーク構築支援事業 の事業概要

① 訓練施設活用に向けた検討

総合工事業団体及び専門工事業団体、教育訓練施設、関係行政機関がコンソーシアムを構成し、これからの地域建設産業が求める担い手確保・育成するための教育訓練体系の構築に向けた検討を行う。

② 訓練施設活用に向けた情報収集

上記の検討を行うため、建設産業団体に加盟する企業や県内教育訓練施設の現況調査・視察など情報収集を行う。

③ 訓練施設を活用した教育訓練

検討結果を踏まえた教育訓練を既存の訓練施設を活用して実施する。

福島県建設業担い手確保・育成検討会 を設置

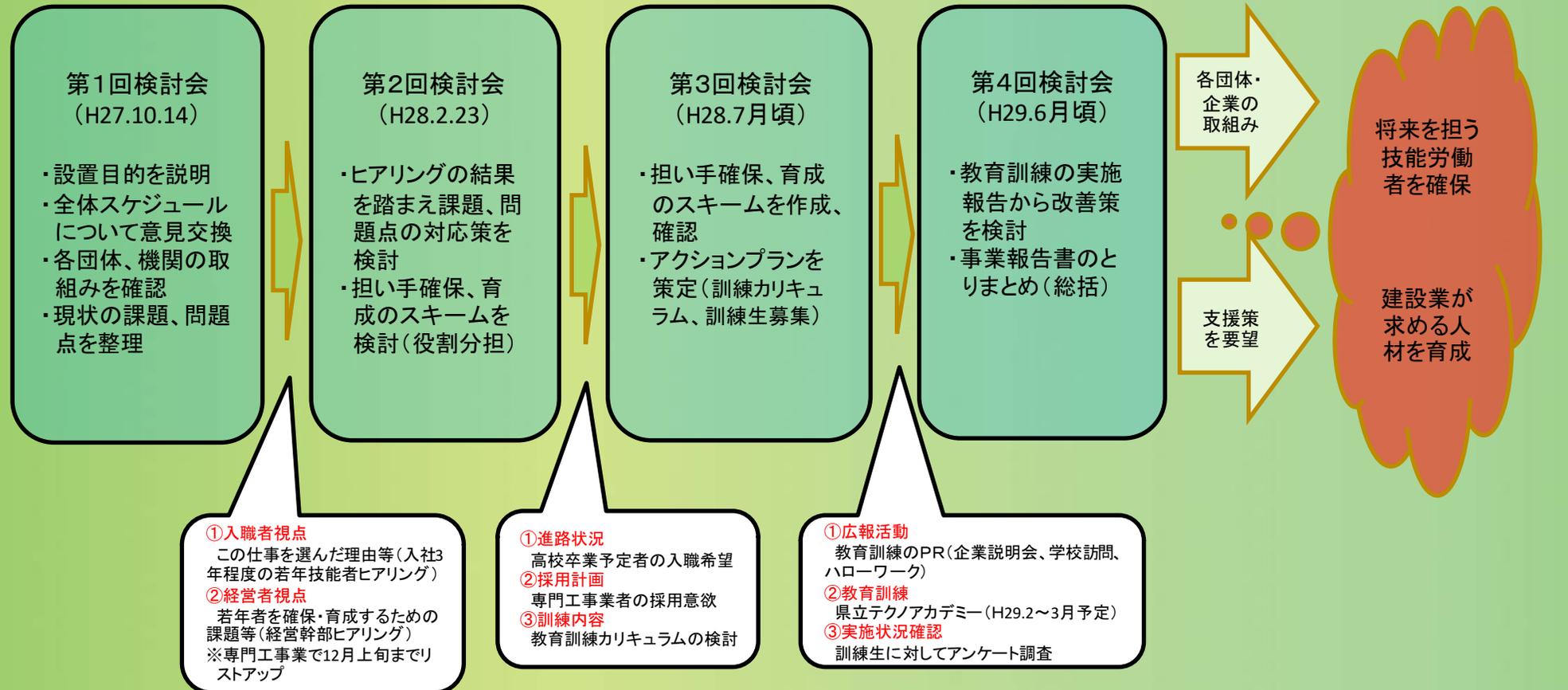
①設置日

平成27年10月14日（第1回検討会を開催）

②構成員

福島県建設業協会（事業管理者）、福島県建設専門工事業団体連合会、福島県立職業能力開発校（テクノアカデミー郡山、テクノアカデミー浜）、福島大学経済経営学類、福島労働局職業安定部、福島県商工労働部、福島県教育庁）

福島県建設業担い手確保・育成検討会 全体スケジュール



福島県建設業担い手確保・育成検討会 スケジュール①

- 第1回検討会（平成27年10月14日）

会議内容①設置目的を説明

②全体スケジュールについて意見交換

③各団体・機関の取組みを確認

④現状の課題・問題点を整理

- 若年技能者の確保・育成に関するヒアリング

実施時期：平成27年12月中旬から平成28年1月上旬

①入職者視点

この仕事を選んだ理由等（入社3年以内の若年技能者）

②経営者視点

若年者を確保・育成するための課題等（専門工事業の経営幹部）

福島県建設業担い手確保・育成検討会 スケジュール②

- 第2回検討会（平成28年2月23日）
 - 予定内容①若年技能者の確保・育成に関するヒアリング結果を踏まえた課題・問題点の対応策を検討
 - ②担い手確保・育成のスキームを検討（役割分担） など
- 若年技能者の確保・育成に関するニーズ調査
 - ①進路状況（高校卒業予定者の入職希望）
 - ②採用計画（専門工事業者の採用意欲）
 - ③訓練内容（教育訓練カリキュラムの検討）

福島県建設業担い手確保・育成検討会 スケジュール③

- 第3回検討会（平成28年7月頃）
 - 予定内容①担い手確保・育成のスキームを作成、確認
 - ②アクションプランを策定（訓練カリキュラム、訓練生募集）
など
- 広報活動
 - 教育訓練のPR（企業説明会、学校訪問、ハローワーク）
- 教育訓練
 - 県内の訓練施設で実施（平成29年2月～3月予定）
- 実施状況確認
 - 訓練生に対してアンケート調査

福島県建設業担い手確保・育成検討会 スケジュール④

- 第4回検討会（平成29年6月頃）
 - 予定内容①教育訓練の実施報告から改善策を検討
 - ②事業報告書のとりまとめ（総括）など
- 各団体・企業の取組み、支援策を要望
- 将来を担う技能労働者を確保
- 建設業が求める人材を育成

現状の課題・問題点について① (第1回検討会より)

● 建設業団体

I 全体として

- ①若年入職者の不足、②労働者の高齢化、③仕事量確保への不安、
④収益性の改善

II 労働条件・環境の改善

- ①賃金水準が低い、②休日が少なく不安定、③労働時間が長い、
④社会保険加入率が低い、⑤労働災害が多い、⑥女性の入職が少ない、
⑦コミュニケーションが不足

III 人材育成

- ①技術・技能の承継、②OJTの限界、③OFF-JTの活用、
④建設系学科の減少

IV 建設業のイメージ

- ①3Kイメージからの脱却、②ダーティなイメージの払拭、③建設業のPR、
④働く方々の適正な評価

現状の課題・問題点について② (第1回検討会より)

● 訓練施設

I 建設学科の入学生確保

- ①入学生が定員を下回る傾向にあり、学生の確保が課題
- ②地域的に若年者の減少や原発事故による風評もあり、人材確保が厳しい

II 訓練コースの多様化

- ①入学生の希望職種が多様化し、対応が困難
- ②入学生が現場離れしている傾向にある

III セミナーの開講

- ①受講内容ニーズの把握方法、講師や一般への周知方法について、さらに充実する方策が課題

IV 事業主委託訓練(建築系)

- ①委託先の確保が課題

現状の課題・問題点について③ (第1回検討会より)

● 行政機関

I 建設業の人材確保

- ①求職者の減少(就職面接会の参加者確保に苦慮)
- ②建設関連有資格者の減少
- ③復興関連建設職の求人増加(有効求人倍率3.79倍でミスマッチ)

II 求職者支援訓練の実施

- ①求職者減少に伴う受講者の確保及び訓練施設の確保
- ②訓練終了後の就職率の向上

III 職場定着促進等

- ①「雇用管理改善啓発セミナー」参加事業所が少ない
- ②高卒求人に対する生徒の希望に親が反対し、職種を変更

IV 技能検定の受検促進

若年技能者の確保・育成に関する ヒアリング①

● 入社3年以内の若年技能者

I 対象者の概要

①年齢、②性別、③最終学歴、④入社年数、⑤主な作業職種

II 入職の理由

①就職のきっかけ、②入職した動機、③建設業以外の仕事経験

III 建設業のイメージ

①入職前のイメージ(良い・悪い)、②入職しての感想(良い・悪い)、

IV 自己啓発等

①教育訓練の必要性、②希望する訓練方法、③希望する訓練内容、

④学習意欲とその理由、⑤資格取得に対する会社の支援等

V 今後も建設業で働きたいか

VI 今後の目標

VII その他、意見など

若年技能者の確保・育成に関する ヒアリング②

● 専門工事業の経営幹部

I 企業の概要

①専門業種、②業種別の直近完成工事高、③従業員数

II 技能者の現状

①技能者の人数、②年齢別、③専門職種別、④雇用形態別

III 過去の入職状況

①直近5年間の技能者の採用人数(新卒・中途別)など

IV 今後の採用計画等

①採用予定の有無・人数・職種、②採用活動、③入職者が少ない原因

V 過去の離職状況

①直近5年間の技能者の離職人数(年齢別)など

VI 技能者の育成方法

①育成方法、②一人前までの年数、③教育訓練の利用ニーズなど

VII 技能者の不足状況 VIII その他、意見など

福島県建設業協会の取組み



親子建設現場見学会



中学生体験型現場学習会



富士教育訓練センターでの訓練



高校生対象合同就職説明会



郡山女子大学建設現場見学会

ご清聴ありがとうございました。